

平成21年度

第77回 野球大会

東光電気工事(株)が5年振り優勝に輝く。



優勝 東光電気工事株式会社チーム

(社)東京電業協会主催による第77回野球大会が、日刊建設通信新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、電気新聞並びに電設工業健康保険組合の協賛により4月30日(木)から5月2日(土)迄3日間に渡り明治神宮外苑軟式球場に於いて開催されました。

大会は3日間とも絶好のコンディションに恵まれ初日(30日)の開会式は午前8時15分より行われ、馬田東京電業協会会長からのメッセージを岸野文化体育部会長が紹介、前回優勝の三英電業(株)より優勝旗返還並びに久代雅人選手による選手宣誓が行われた後、岸野部会長の始球式により熱戦の火ぶたが切られました。

1、2回戦は接戦あり大差ありで各チームとも大変に大会を盛り上げてくれました。

2日目の準決勝は前年度優勝の三英電業(株)と前年度3位の日本リーテック(株)(旧千歳電気工業(株))、前年度3位の(株)東電通と東光電気工事(株)がそれぞれ試合を行い7対6で三英電業(株)が4対1で東光電気工事(株)が勝利し決勝に進出しました。

最終日の決勝戦は快晴の下、午前10時より行われ3回表に三英電業(株)が四球後、三塁打2本を含む5本の安打で4点を先制しました。対する東光電気工事(株)も5回裏に1、3塁にランナーを置き三塁打で2

点を返しました。6回には両チームとも1点ずつをあげ7回表に三英電業(株)が3本の安打で1点を追加、6対3で迎えた8回裏に東光電気工事(株)が四球押し出しで先ず1点、さらに外野のエラーで2点を追加して6対6の同点となりました。9回は両チームとも得点が無く延長10回表に三英電業(株)が安打、死球、四球で満塁となりライト前安打で2点を加え8対6で勝負あったかに思えた10回裏に東光電気工事(株)が四球、内野安打、四球で満塁とし、レフト前安打で送球の手間取る間に走者一掃で3点を返して9対8の逆転サヨナラ勝ちで5年振りの優勝を果たしました。

決勝戦の後、表彰式が行われ八幡副会長より東光電気工事(株)に賞状・優勝旗・優勝杯、準優勝の三英電業(株)に賞状・準優勝杯、3位の日本リーテック(株)と(株)東電通に賞状・3位杯がそれぞれ授与されました。

個人賞には最優秀選手賞に東光電気工事(株)野本俊之選手、敢闘賞には三英電業(株)中野拓矢選手が選ばれました。

最後に大会運営に携わって頂いた役員関係者の方々には大変お世話になり感謝申し上げます。また参加した選手の皆様、大会運営にご協力有難うございました。

(野球部代表世話人 松田知仁)

決勝戦 得点結果

チーム	回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
三英電業		0	0	4	0	0	1	1	0	0	2	8
東光電気工事		0	0	0	0	2	1	0	3	0	3x	9



最優秀選手賞 東光電気工事(株) 野本 俊之選手
敢闘賞 三英電業(株) 中野 拓矢選手

平成21年度(第77回)野球大会組み合わせ表

(球場名)

- (日) 日の丸球場 (桜) 桜球場
- (ヒ) ヒマラヤ球場 (ケ) ケヤキ球場

開催日 4月30日(木)~5月2日(土)
場所 神宮外苑軟式球場

